



令和4年 5月 1日  
府中市立府中第七小学校  
校長 渡邊 和子

## 令和4年度 府中市立府中第七小学校 経営計画

はじめに

府中第七小学校は、昭和29年4月1日府中第五小学校北山分校として発足、翌30年4月1日府中第七小学校として独立開校して以来、今年で68年となります。

校章は、○開校当時、北山一帯が松の林に覆われていたこと。

○小鳥のさえずる松林の思い出を残したいこと。

○松のときわの緑が永遠の発展を願っていること。

○本校創立に尽くされた旧西府村村長、松村敬一郎氏の頭文字であることなどが由来と言われています。

これまでの学校運営にご尽力された皆様に敬意を表し、バトンを受け継ぎ、4年が経ちました。地域に愛される小学校、よき校風を誇りとして守り、更に発展させてまいりたいという思いは変わりません。新型コロナウイルスが、世界中で猛威を振るい、2年以上が経ちました。コロナ時代の生活様式に対応していく日々が未だ続いておりますが、学習指導要領を基に、「GIGA スクール構想」を着実に進め、日々の教育活動に誠実に取り組んでいく所存です。必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしながら、社会との連携及び協働によりその実現を図っていく「社会に開かれた教育課程」を重視し、学校経営を進めてまいります。

学校教育の使命は、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることです。（学習指導要領より）

6年間を通して、子供たちが基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、それらを活用して課題解決のために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、健やかに育つ小学校にしていきます。さらに、武蔵台小学校、府中第七中学校との小中連携、一貫教育を推進してまいります。

### 1 目指す学校 〈教育目標〉

「つよく」 丈夫な体と強い意志をもち、責任をもって最後までやり遂げる力。  
健やかな体の育成 ～しんの強い子～【行動力】

「ただしく」 基礎学力を身に付け、真理と正義を愛し、主体的に考え、判断し、すすんで創造的に行動する力。  
確かな学力の向上 ～学び続ける子～【問題解決力】

「あたたかく」 自他の人格を尊重し、豊かな心情をもって共に生きることのできる力。  
豊かな心の醸成 ～思いやりのある子～【人間関係形成力】

## 〈七小の七つの宝〉

◎あいさつ上手◎聞き方上手◎発表上手◎元気な歌声◎ルールに強い◎素直◎優しい笑顔

〈令和4年度のキャッチフレーズ〉「地域協働・チーム七小・笑顔の学校」

「みんなは一人のために、一人はみんなのために」～ One for all All for one ～  
自慢できるクラスをつくろう

### 〈教育内容〉

(1) 「つよく」丈夫な体と強い意志をもち、責任をもって最後までやり遂げる力。

健やかな体の育成～しんの強い子～【行動力】

- ① 元気に外で遊べるようにする。
- ② 体力向上を目指した活動を計画し、実施する。
- ③ 何事にも最後まで頑張ることができるようにする。
- ④ 責任を負う活動や役割をもち、達成感や自己有用感をもてるようにする。
- ⑤ 自己肯定感をもち。

(2) 「ただしく」基礎学力を身に付け、真理と正義を愛し、主体的に考え、判断し、  
すすんで創造的に行動する力。

確かな学力の向上～学び続ける子～【問題解決力】

- ① 知識及び技能を身に付ける。
- ② 思考力、判断力、表現力を養う。
- ③ 主体的に学習に取り組む態度を養う。(SDGsの考え方に基づく)

(3) 「あたたかく」自他の人格を尊重し、豊かな心情をもって共に生きることのできる力。

豊かな心の醸成～思いやりのある子～【人間関係形成力】

- ① 相手のことを思いやり、親切にできるようにする。
- ② 感謝の気持ちを伝えられるようにする。
- ③ 礼儀正しい挨拶が、すすんでできるようにする。
- ④ 友達を信頼し、友情を高め合えるようにする。
- ⑤ 互いの違いを認められるようにする。

(4) 道徳教育の充実

- ① 人権尊重の観点から、人権を守り、自他を大切にできる心情を養う。
- ② あらゆる偏見や差別をなくす教育、いじめ防止の教育に取り組む。
- ③ 「未来へつなぐ府中2020レガシー」の推進
- ④ 「特別の教科 道徳」を要とし、教育活動全体を通じて道徳教育の充実を図る。

## 〈目指す教職員像〉

### 「地域協働・チーム七小・笑顔の学校」として組織的に協働できる教職員

(1) 教職員がそれぞれの持ち味を発揮し、創意とチャレンジの気概をもって活躍し、協働できる組織力の高い職場づくりを推進する。

- ① 「子供のための教育」で一致できる教職員のチーム力を高める。
- ② 学年部、事務部を基底に、合理的な校務分掌を組織し、自主的に協働する。
- ③ 主幹会、企画会、職員会議の流れでコンセンサスを得、教育課程を推進する。
- ④ 職員夕会、生活指導夕会で丁寧に共通認識、共通実践に努める。
- ⑤ 「学校経営支援予算」を活用し、適宜、適切に支援員を配置、執行する。

(2) 「OJT」に取り組み、学び続ける。

- ① 社会人、組織人、教員または学校職員としての資質向上に努める。
- ② 人権感覚を磨き、「人権プログラムのチェックリスト」で定期的に確認する。
- ③ 都や市の研究制度を活用し、今日的課題にすすんで取り組み、校内に還元する。
- ④ 「ミニ研修会」を通して、若手、ベテランの枠をはずし、スキルを学び合う。

(3) 教員は「分かる・できる」授業、「確かで豊かな学びのある」授業を実践する。

【目標：学校評価80%以上】

- ① 「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善～単元学習とデジタル教材の開発を通して～」を研究主題として、校内研究に取り組む。
- ② 教師自らが率先垂範し、「七小授業・学習スタンダード」の改善、徹底に努める。
- ③ 全ての児童が「分かった・できた」と感じられるよう、ユニバーサルデザインの考え方を基調とした授業に努める。
- ④ プログラミング教育の意義や学習のねらいを理解し、プログラミング的思考力の育成など、身に付けるべき資質・能力の育成を図る。
- ⑤ 「特別の教科 道徳」については、「考える道徳、議論する道徳の授業」を目指し、資料や板書のデータ化により、共有財産を増やす。
- ⑥ キャリア・パスポートの活用実践に取り組み、キャリア教育を推進する。
- ⑦ GIGA スクール構想の推進。一人1台のタブレット端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育 ICT 環境を実現する。情報教育推進担当を中心として、一人1台の端末をいかに活用するか、研修を計画し、全教員が具体的なスキルを身に付ける。

(4) 児童の「安全・安心」に常に配慮し、行動する。

【目標：学校評価80%以上】

- ① 新型コロナウイルス感染症予防のための生活様式、生活習慣を徹底する。
- ② 「生活・交通・災害」安全教育の指導を連携して計画的に実施する。

- ③ 学校生活を通して、危険を予測し回避する能力や、自助・共助・公助の意識を育み、高められるよう留意する。（「防災プロジェクト」の取組）

（５）教育相談体制を整え、推進する。

- ① 学級経営の充実を図り、集団場面での指導や援助を行うガイダンスと個々の児童の多様な実態を踏まえた個別のカウンセリングにより、児童の発達を支援する。
- ② 特別支援コーディネーターを中心に校内委員会の充実を図る。
- ③ スクールカウンセラーとの連携の下、配慮を要する児童へ適切な指導を行う。
- ④ 教職員の特別支援教育に対する理解や、「ひばり」の教育活動との連携を深める。
- ⑤ 副籍交流を実施するなど、インクルーシブ教育の理解に努める。

（６）学校を保護者、地域に開き、連携する。

【目標：学校評価８０％以上】

- ① PTA、スクール・コミュニティ協議会、七小防災会議、おやじの会、青少対、町会、府中 PFS と連携し、地域に根差したよりよい教育活動を推進する。
- ② 学校から地域の行事や市の事業などに積極的に参加する。（参加一覧の自己申告）
- ③ ホームページやブログの定期発信及び一斉メールの適宜、適切な情報発信に努める。特に、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策など、東京都や府中市教育委員会の指導の下、近隣校とも連携し、保護者や地域に丁寧に分かりやすく伝えられるよう努める。
- ④ 学校評価を改善し、よりよい学校づくりに活用できるようにする。
- ⑤ 七小防災会議と連携し、年に１度、避難所開設訓練を実施する。

（７）法令遵守、服務規律の徹底。

- ① 報告・連絡・相談・記録を徹底する。（よくないこと程、早くを合言葉に）
- ② 服務事故防止研修を計画的に実施、充実したものとする。【服務事故〇の継続】
- ③ 「学校徴収金事務取扱規定」の下、学校徴収金の管理、取扱いに万全を期す。
- ④ 「情報セキュリティ実施手順」を基に、教育情報を適切に管理、運営する。

（８）武蔵台小学校・府中第七中学校との小中連携、一貫教育を推進する。

- ① 義務教育９年間の各教科・領域における「学び」と「育ち」のカリキュラム接続を含めた、系統的指導、継続的な指導に取り組む。（元気アップチャレンジ週間・ノーマディアデー）
- ② 管理職の定期的な情報交換を実施する。

（９）働き方改革

【目標：全教職員 １か月の定時外在校等時間 ４５時間未満】

- ① 教員が本分の業務（授業準備、学習評価、生活指導、行事の準備など）のために時間を使えるよう、学校経営支援事業、副校長等校務改善事業を有効に活用する。
- ② 教員一人一人の健康保持の実現を図り（メンタルヘルスチェック）、子供に笑顔で

接することができるようにする。

### (10) 危機管理

- ① 「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめアンケート、SCによる全員個人面談（5年生児童を対象）を実施する。
- ② いじめ等の早期発見に努め、早期に「いじめ対策委員会」をもち、適宜、適切な組織的対応を取る。
- ③ 「アレルギー対策委員会」を開き、今月のメニューについて確認、共有し、アレルギー児童の家庭との連携を確実に取り、安全・安心な給食に万全を期す。
- ④ 「情報セキュリティ委員会」を計画的に開き、研修会をもち、教育情報セキュリティの管理運営に万全を期す。【個人情報の取扱い事故0の継続】

## 2 中期的目標と方策

### 3年後

- ◎児童の自己肯定感を80%以上に高める。
- ◎読書量、年間、学年×1000ページ以上、達成率を75%以上にする。
- ◎基礎・基本の学力の定着を85%以上にする。
- ◎挨拶のできる児童を90%以上にする。
- ◎学年専科制を中・高学年の「外国語活動」「外国語」以外にも拡充する。
- ◎七中との系統的指導の推進。「外国語・英語」「保健体育」「図工・美術」から、「音楽」と乗り入れ授業を広げる。
- ◎七小防災会議を中心に避難所開設訓練を毎年実施する。

### 5年後

- ◎児童の自己肯定感を85%以上に高める。
- ◎読書量、年間、学年×1000ページ以上、達成率を80%以上にする。
- ◎基礎・基本の学力の定着を90%以上にする。
- ◎挨拶のできる児童を95%にする。
- ◎学年専科制を高学年の「外国語」、中学年の「外国語活動」以外にも拡充する。
- ◎七中との系統的指導の推進。「外国語・英語」「保健体育」「美術・図工」「音楽」から「国語」と乗入れ授業を広げる。
- ◎七小防災会議を中心に避難所開設訓練を毎年行い、七中・武蔵台小と連携した防災訓練を実施できるようにする。

以上の項目の目標を達成するために、地域や府中第七中学校区の小、中学校で連携、協働し、互いの教育活動について、切磋琢磨し高めていく。それぞれのスクール・コミュニティ協議会、防災組織と三校校長連絡会や小中一貫教育コーディネーター連絡会の活動を重視し、拡大、充実したものにしていく。

### 3 今年度の取組目標と方策

#### (1) 教育活動の目標と方策

1 「つよく」丈夫な体と強い意志をもち、責任をもって最後までやり遂げる力。

健やかな体の育成 ～しんの強い子～【行動力】

① 元気に外で遊べるようにする。

◆中休み、昼休みと誘い合って大勢で外遊びができるようにする。

② 体力向上を目指した活動を計画し、実施する。

◆年間を通して学年ごとの「パワフル7（セブン）」（体力づくり）を実施する。

◆1学期は「体カテスト週間」、2学期は「マラソン週間」、3学期は「なわとび週間」を実施する。

◆全学年、「ふちゅうロープチャレンジ」（長縄8の字連続とび）に参加する。

◆給食委員会を中心に、望ましい食習慣の育成を推進する。（残菜0を目指す）

◆小中連携「元気アップチャレンジデー」を実施し、地域で生活習慣を見直す。

③ 何事にも最後まで頑張ることができるようにする。

【目標：学校評価80%以上 自己評価80%以上】

◆生活の場面、学習の場面で指導し、評価する。

④ 責任を負う活動や役割をもち、達成感や自己有用感をもてるようにする。

◆当番活動や係活動など、日常の責任を負う活動や役割を通し、体得できるようにする。

◆班長、グループ長、団長、委員長など、リーダーを体験できるようにする。

◆「キャリアパスポート」の記録を丁寧に指導し、目標をもって、最後まで粘り強く頑張る児童を育てる。

⑤ 自己肯定感をもち。

【目標：自己評価75%以上】

◆毎日の教育活動の中で、一人一人の子供のもつよさに気付き、認め合えるように、教師の声掛けをはじめ、子供からの発信も通して、個々の子供が自分に自信をもてるようにする。

◆一人一人の子供の活躍する場面を設定し、どの子供も励ましや応援を受けられるようにする。

◆自慢できるクラスづくりに貢献できるようにする。

◆「未来へつなぐ府中2020レガシー教育」との関連を図る。

2 「ただしく」基礎学力を身に付け、真理と正義を愛し、主体的に考え、判断し、すすんで創造的に行動する力。

確かな学力の向上 ～学び続ける子～【問題解決力】

①知識及び技能を身に付ける。

（問われていること・・・「何を知っているか。何ができるか。」）

◆「授業・学習スタンダード」を徹底する。

◆基礎、基本の徹底、反復。「eライブラリー」などを活用する。

【目標：達成率 当該学年前の内容の取得80%】

② 思考力、判断力、表現力を養う。

(問われていること・・・「知っていること、できることをどう使うか。)」

◆言語活動を駆使した授業。「話し合い」や「発表」は目的ではなく、手段として捉え、主体的・対話的で深い学びのある授業を実践する。

◆言葉で理解したり表現したりしながら、自分の思いや考えを広げ、深める。

◆指導と評価の一体化に取り組む。

③ 主体的に学習に取り組む態度を養う。

(問われていること「どのように社会・世界と関わり、よりよい生き方にするか」)

◆自分で目標を立てられるようにする。(生活・学習・行事・その他)

◆読書活動を推進する。【目標：3年生以上 学年×千ページ以上、達成率70%  
1年生100冊以上、2年生200冊以上、達成率80%以上】

◆全校で、2か月毎の詩の暗唱に取り組む。【目標：達成率90%】

3 「あたたかく」自他の人格を尊重し、豊かな心情をもって共に生きることのできる力。

豊かな心の醸成 ～思いやりのある子～【人間関係形成力】

① 相手のことを思いやり、親切にできるようにする。

② 感謝の気持ちを伝えられるようにする。

◆2,3学期に「ありがとうの木」の取組を実施する。3学期には地域に広げる。

③ 礼儀正しい挨拶が、すすんでできるようにする。

【目標：学校評価85%以上 自己評価85%以上】

◆「生活スタンダード」を徹底し、特に挨拶がしっかりできるようにする。

◆年間を通して「あいさつ運動を」実施し、縦割り班ごとにあいさつ担当を体験し、挨拶の大切さに気付くことができるようにする。(朝のあいさつ運動)

◆各クラスに( )人と目標を作って、挨拶名人を増やす。

④ 友達を信頼し、友情を高め合えるようにする。

⑤ 互いの違いを認められるようにする。

◆児童一人一人の良さを認め、伸ばす。

◆言葉の使い方や態度について指導し、学級や学年、異学年の仲間と仲良く生活できるようにする。

◆たてわり班活動を自分の役割を達成し、楽しむことができるようにする。

【目標：学校評価85%以上 自己評価85%以上】

「道徳教育の充実」

①人権教育の観点から、人権を守り、自他を大切にすることを養う。

◆人権が守られているとは、「安心して、自信をもって、自由に選べる」ことであることを共通のキーワードとして理解し、共通実践していく。(人権作文参加)

② あらゆる偏見や差別をなくす教育、いじめ防止の対策に取り組む。

- ◆日々の教育活動を通して、偏見、差別、いじめの芽を見逃さず、適宜指導する。
  - ・新型コロナウイルス感染症に関する偏見や差別など、全教員で組織的に指導に当たる。
  - ・「いじめ防止対策委員会の」迅速な運営に心掛ける。
- ③「未来へつなぐ府中 2020 レガシー」の推進
  - ◆オリパラ教育の継承
  - ◆ふるさと学習の充実。地域学習の活性化を図り、府中を愛する心を醸成する。
  - ◆SDGs（国連）2030年に向けて世界が合意した持続可能な開発目標、5つの分類・17の目標。ESD（ユネスコ）持続可能な社会の創り手を育む教育の視点。
- ④「特別の教科 道徳」を要とし、教育活動全体を通じて道徳教育の充実を図る。
  - ◆道徳授業地区公開講座を計画し、家庭、地域の方々、専門家の方の参加や協力を得て、家庭や地域社会との共通理解を深め、相互の連携を図る。
  - ◆「特別の教科 道徳」以外の授業の特質に応じて、適切な道徳教育を行う。
  - ◆教育活動全体の中で、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育て、道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める。

## （2）重点目標と方策

### ◆◆児童の重点目標と方策

#### 1 「つよく」◎ ⑤ 自己肯定感をもつ。【目標：自己評価 75%以上】

- ◆毎日の教育活動の中で、一人一人の子供のもつよさに気付き、認め合えるように、教師の声掛けをはじめ、子供からの発信も通して、個々の子供が自分に自信をもてるようにする。
- ◆一人一人の子供の活躍する場面を設定し、どの子供も励ましや応援を受けられるようにする。
- ◆自慢できるクラスづくりに取り組む。
  - ・児童のよいところ、頑張っているところを記録し、情報共有できる仕組みをつくり、学校中で共有する。（週案簿への記録・コンパスの活用）
  - ・「今日のがんばりさん」、「今日のMVP」など、あらゆる場面で真面目に努力した子供が認められるようにする。
  - ・2学期末に、クラス自慢を全校朝会で発表する。

#### 2 「ただしく」◎ ③主体的に学習に取り組む態度を養う。

- ◆自分で目標を立てられるようにする。（生活・学習・行事・その他）
- ◆読書活動を推進する。【目標：学年×千ページ以上、達成率70%以上】
- ◆2か月毎の詩の暗唱に取り組む。【目標：達成率90%】
  - ・各学年から一人が委員となる読書推進委員会を組織し、読書活動を推進する。
  - ・全校一斉の朝読書、年3回の読書週間に取り組む。（「おすすめ本カード」の作成、掲示や「読書郵便」の活動を通して、校内で図書情報を共有し、読書の



楽しさを共感できるようにし、読書の習慣を身に付けられるようにする。）

- ・「読書貯金」や「読書レストラン」など、発達に合わせた読書カードを活用し読書活動の振り返りができるようにする。
- ・担任、学校司書の読み聞かせをはじめ、「どんぐりさん（保護者有志）」、「蔵内さん（読書ボランティア）」の読み聞かせを通して読書に親しむ。
- ・読書の記録を丁寧に指導することを通して、読書量の多かった児童は、全校朝会で表彰し、称賛する。

### 3 「あたたかく」◎ ③礼儀正しい挨拶が、すすんでできるようにする。

【目標：学校評価85%以上 自己評価85%以上】

- ◆「生活スタンダード」を徹底し、特に挨拶がしっかりできるようにする。
- ◆年間を通してあいさつ運動を実施し、たてわり班ごとにあいさつ担当を体験し、挨拶の大切さに気付くことができるようにする。（朝のあいさつ運動）
- ◆各クラスに（ ）人と目標を作って、挨拶名人を増やす。
  - ・代表委員会と連携して、縦割り班での挨拶運動に取り組む。
  - ・府中第七中学校の生徒、教員と連携して、合同の挨拶運動を計画、実施する。
  - ・毎朝校長が門に立ち、登校する児童に笑顔で挨拶する。

## ◆◆教職員の重点目標と方策

◎（3） 教員は「分かる・できる」授業、「確かで豊かな学びのある」授業を実践する。【目標：学校評価80%以上】

- ・週案簿の提出、100%を継続する。

#### ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組む。

校内研究の研究主題を「主体的・対話的で、深い学びの実現に向けた授業改善～単元学習とデジタル教材の開発を通して～」とする。全教職員が学期毎に1つ以上のデジタル教材の活用を発表する。

#### ② 教師自らが率先垂範し「授業・学習スタンダード」の改善、徹底に努める。

#### ③ プログラミング教育の意義や学習のねらいを理解し、プログラミング的思考力の育成など、身に付けるべき資質・能力の育成を図る。

#### ④ 「キャリアパスポート」の活用実践に取り組み、キャリア教育を推進する。

#### ⑤ GIGA スクール構想の推進。一人1台のタブレット端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育 ICT 環境を実現する。

- ・電子黒板など ICT 「Information and Communication Technology（情報通信技術）」を活用した授業を推進する。
- ・GIGA（Global and Innovation Gateway for All.）スクール構想を推進し、情報推進委員長を中心に情報教育推進リーダーを中心として、各学年から一人が委員となる GIGA 推進委員会を組織し、一人1台の端末をいかに活用するか、

- 研修を計画し取り組み、全教員が具体的なスキルを身に付け、一人一人の資質、能力を確実に育成できるようにする。
- ・ユニバーサルデザインをはじめ、子供一人一人の成長を促す指導や支援の在り方を常に追求し、実践する。
- ・授業観察時は授業実践の学び合いの場とし、全教員に事前に略案を配付する。授業を通して、自評、改善点等、双方向で授業の展開や指導技術について、話し合う。
- ・教科担任制の推進。(外国語活動・外国語)
- ・都及び市内の研究協力校の様々な研究成果に学び、府中市立小中学校研究会の各部に所属し、指導力を高め、指導技術を身に付ける。

◎ (4) 児童の「安全・安心」に常に配慮し、行動する。

【目標：学校評価80%以上】

- ① 新型コロナウイルス感染症予防のために、新しい生活様式、習慣を徹底する。
- ② 「生活・交通・災害」安全教育の指導を連携して計画的に実施する。
- ③ 学校生活を通して、危険を予測し回避する能力や、自助・共助・公助の意識を育み、高められるよう留意する。
  - ・体温計測など毎朝の健康観察・手洗い・マスクの着用・3密を避ける・基本的な生活リズムの定着などを徹底指導する。
  - ・記録を基にした「報・連・相・記」の徹底。早期対応に努める。
  - ・危機管理体制のマニュアル化。保護者、地域への十分な情報周知に努める。
  - ・環境整備、予防的安全指導の工夫及び改善に取り組む。

◎ (6) 学校を保護者、地域に開き、連携する。【目標：学校評価80%以上】

- ① PTA、スクール・コミュニティ協議会、おやじの会、青少対、町会、府中 PSF と連携し、よりよい教育活動を推進する。
- ② 学校から地域の行事や市の事業などに積極的に参加する。(参加一覧の自己申告)
- ③ ホームページやブログの定期発信、及び一斉メールの適宜、適切な情報発信に努める。特に、新型コロナウイルス感染拡大防止の様々な情報について、教育委員会や他校と連携し、保護者や地域に分かりやすく伝えられるよう努める。
- ④ 学校評価アンケートを改善し、よりよい学校づくりに活用できるようにする。
  - ・カリキュラムマネジメントの推進に取り組み、児童の自己評価、保護者の学校アンケートを改善し、教育課程、教育計画との連動を強化する。
  - ・教育環境の充実、地域協働避難所開設訓練の実施、花壇作り、漢検・英単語検へのチャレンジ等、地域との協働で地域の学校を守り、育てる。
  - ・交通安全ボランティアの方々との交流活動の実施。3年以上活動をされている方への感謝状の贈呈(学校+PTAより)。
  - ・学校教育に多大なご協力をいただいている方へ府中市教育委員会からの感謝状の推薦。

## ◎（９）働き方改革

【目標：全教職員 1か月の定時外在校等時間 45時間未満】

- ① 教員が本分の業務（授業準備、学習評価、生活指導、行事の準備など）のために時間を使えるよう、学校経営支援事業、副校長等校務改善事業を有効に活用する。
  - ※令和4年度の学校経営支援事業、配当予算 287万4千円。
  - ※令和4年度の副校長等校務改善事業、配当予算 179万3千400円。
  - ・Tコンパスの掲示板機能で、起案文書を掲示したり、スマート連絡帳で通知を送信したりして、校務業務の効率化、ペーパーレス化を促進する。
  - ・企画会において、毎月チェックシートを用いて振り返り、校務改善を推進する。
- ② 教員一人一人の健康保持の実現を図り（メンタルヘルスチェック）、子供に笑顔で接することができるようにする。
  - ・毎週水曜日の定時退勤の推進。（全教職員の90%を達成。）